

牧草と園藝



1

1996



社 是

「健士健民」は我が社の理念より良き種子の開発、採種、流通より良き飼料の研究、製造、供給「農業奉公」の社是を通じてお役に立つよう真剣な努力を重ねてまいります。
豊かな農業を育て、自然を守る愛される企業を目指します。

ごあいさつ

平成8年の新春を迎え、皆様のご健勝と、ますますのご繁栄を心から祈念申し上げ、併せて本年も相変わらませぬご愛顧とお引き立てを賜りますよう切にお願い申し上げます。また、日ごろは当社事業につきまして深いご理解とご協力を賜り、この機会に厚くお礼申し上げる次第でございます。

最近の経済情勢、特に日本の農業を巡る構造変動には極めて厳しいものがございます。貿易収支の黒字とバブルの崩壊による、戦後経験したことのない超デフレ現象に加えて、ウルグアイ・ラウンド農業合意による農業政策の変更が、わが国農業界に大きな構造改革を迫っておりますことは周知のとおりでございます。

このような経済情勢の変動の大波は、これまでも何度か経験してきたところでございますが、そのたびに先人たちは打開策に知恵を絞り、また国策のバックアップのよろしきも得て、危機を乗り越えてまいりました。

ハードルを超えるたびに、品種改良・耕種栽培・家畜飼養・機器装備・施設等の研究と技術の向上に目覚ましい進展があり、農業の生産性と安全性を高め、人々のより豊かな生活の実現に貢献してまいりました。

一方、21世紀には世界人口の急速な増加が予想されており、食料生産問題はエネルギー枯渇の問題と並んで、極めてタイトで戦略的な外交手段になることが予測されています。また、人々が平和で落ち着いた豊かさを求める中で、ゆとりのある『花と緑』の生活がますます脚光を浴びてきております。

他方、あらゆる産業で生産性が高まるほど、あるいは人々の生活が物質的に豊かになればなるほど、廃棄物や排泄物の処理を自然循環の形で処理することが出来なくなってまいりました。現在、農業の分野でも、この公害・汚染問題は大きな課題となっております。

以上のような諸状況を踏まえ、雪印種苗は本年も引き続き気候風土にあった「最適品種」の開発、社会的「ニーズの高い品種」の導入に全力を挙げますと共に、緑肥・輪作体系の「地力増進技術」、あるいは環境汚染対策としての「排泄物処理技術」の確立で、変革の時代の農業の構築に大いにお手伝いをさせていただきます。

新しい年を迎えるに当たり、皆様の一層のご発展を重ねて祈念申し上げまして、ごあいさつと致します。

平成8年元旦

雪印種苗株式会社

取締役社長 種田 泰典